

## 【東村山防災の日①】

9月6日（土）、今年も東村山防災の日の取組が行われました。

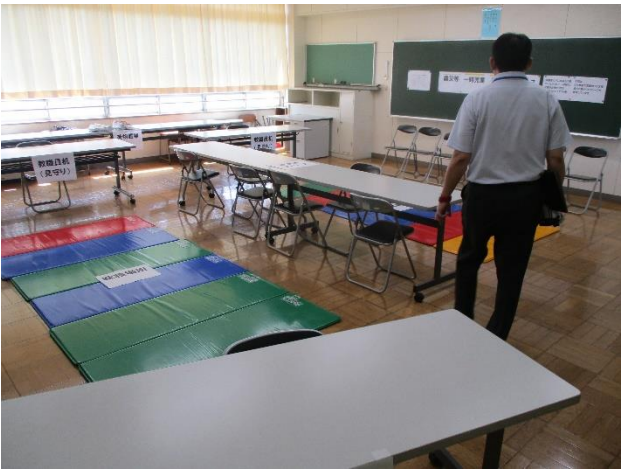
1、2校時は授業公開。命を大切にする心情を育む授業や防災、安全への理解を深める授業を各学年で工夫して行いました。

5年生は、「避難所について知ろう」の授業を避難所運営連絡会の皆様のご協力で実施しました。

あらかじめ校内に準備していただいた避難所レイアウトを回り、トイレ、応急給水拠点、段ボールベッドなど避難所で使用するものや機能について学びました。子供たちはそれぞれの場所ごとに地域の方から説明を受けたり質問したりして、いざという時の避難所の役割や、自分がやるべきことをよく考えていました。

授業終了後は、保護者への児童引き渡し訓練。学校公開中に大規模地震が発生したとの想定での引き渡しを行いました。帰りには体育館内や校内に再現された避難所レイアウトを見学していただきました。今年は大規模震災等で保護者がすぐにお迎えに来られないことを想定して、お子様を1泊2日程度お預かりする際の部屋もご覧いただきました。本校ではその際に1泊2日程度子供が過ごせる最低限度の物を各ご家庭で考えて「もしもポケット」として持参していただいています。この「もしもポケット」の活用場面も具体的なイメージをもっていただけたのではないかと思います。





## 【東村山防災の日②】

午後は地域と学校との協働訓練を行いました。

今年は避難所運営連絡会の皆様が中心となって、計画、運営をしていただきました。はじめに避難所開設訓練です。今回は「東村山で日曜日の午後2時に震度7の大地震が発生した」との想定で、参加された方を運営側、避難者側に分け、避難所を開設するまでの流れを確認しました。

実際に行ってみると、想定通りにできたところと今後の課題として検討すべきところがあり、とても有意義な訓練でした。

次に、グループに分かれてトイレ、応急給水拠点、パーテーション、段ボールベッド等の設置訓練を行いました。設置はできても格納が難しいなど、実際に作業を行ってみるとスムーズに行えないものもあり、体験しておいてよかった、との声が多数聞かれました。

今年度の「東村山防災の日」も、とても充実した取組を行うことができ、子供たちだけでなく教職員、保護者、地域の皆様全ての方の防災への意識が高まりました。ご協力いただいた全ての皆様、本当にありがとうございました！



